

# 図書館、出版、書店 連携で地域活性化

## 札幌でセミナー

図書館の可能性や出版社、書店との連携について考えるセミナー「進化する図書館―本の話しよう」が19日、札幌市民交流プラザのスカートコートで開かれた。写真。道内の出版社などをつくる北海道デジタル出版推進協会(HOPPA)主催。

第1部では、地域プランナー



の小磯修二さん(前釧路公立天学長)ら3人が基調報告。小磯さんは、道内は図書館設置率やサービスなどで地域間格差が大きいことを指摘。(カバーかけなど)本の装備作業を地元の福祉事業所などに委託する幕別町図書館(十勝管内)の例を紹介し「図書館が地域と連携することで経済活性化の拠点となりう。図書館を支える人たちが、受け身ではなく前向きになることが大切」と話した。

第2部は、小磯さんを含め、

道内の出版社や図書館の関係者ら6人によるパネルディスカッション。HOPPA代表の林下英二さん(中西出版社社長)は「HOPPAが図書館、出版社、書店、作家、地域の人たちの(距離を縮め)密着度を高める役割を果たせるといいな」と思っている。デジタル書籍が紙書籍のバックアップとなり、共存できる可能性はある」とまとめた。

(久才秀樹)

2019年3月26日(火)

北海道新聞 夕刊